

平成 31 年度 在宅医療推進連携講座 ③ご案内

長崎版地域包括ケアシステムの図



医師・多職種を対象に「在宅医療推進連携講座」を、令和元年6月から10月まで5回シリーズで毎月1回開催します。
 (内容：事例・グループワーク・時間：19:00～21:00)

- 1 場 所：長崎市医師会館 7階講堂（長崎市栄町 2-22）
- 2 対 象：市内の病院、診療所の医師及び病院・在宅医療に関わる多職種のかた
- 3 参加費：無料 【定員 100人】
- 4 申込方法：第3回について参加ご希望の方は、8月20日（火）までに、
FAXで申し込んでください。
- 5 申込先：長崎市包括ケアまちなかラウンジ
 ～医療・介護相談、連携支援の窓口～
 長崎市江戸町6番5号 江戸町センタービル2階
 TEL：095-893-6621 FAX：095-826-3021

在宅医療推進連携講座 申込票

病院・診療所・施設名	氏 名	職 種
TEL : FAX :		

講座のプログラムは裏面にあります

平成31年度 在宅医療推進連携講座プログラム

	内 容	講 師
1 6月21日(金)	『在宅⇔病院のスムーズな移行』 診療報酬・介護報酬の30年改定後の連携はスムーズになったか。また新たな課題を表出して課題解決できるように各職種間で協議し長崎地域の在宅医療・介護連携推進を図る (事例) 40分 (グループワーク) 50分 (総評) 10分	・ 聖フランシスコ病院 地域連携科 主任 松永さおり ・ 介護支援専門員連絡協議会 会長 大町由里 座長・総評：土屋担当理事
2 7月25日(木)	『急変時の冷静な対応』 緊急に入院が必要と判断した場合に地域の受け入れ可能な病床にスムーズに入院できる (事例) 40分 (グループワーク) 50分 (総評) 10分	在宅医師 阿保外科医院 副院長 阿保貴章先生 座長・総評：出口担当理事
3 8月27日(火)	『心理的負担のない日常生活・療養』 患者の状況に関わらず医療が必要になっても安心して地域でくらす (事例) 40分 (グループワーク) 50分 (総評) 10分	病院 日本赤十字原爆長崎病院 MSW 向 麻里子 山口晃平 在宅 訪問看護さくら 山口走野子所長 座長・総評：出口担当理事
4 10月1日(火)	『在宅医療・介護の体制等』 在宅医療をサポートする基盤があり、関係者どうしのつながりが緊密 (事例) 40分 (グループワーク) 50分 (総評) 10分	病院： 済生会長崎病院 包括ケア病棟 連携室 在宅： ケアマネ訪問看護→依頼 座長・総評：土屋担当理事
5 10月30日(水)	『病院以外での看取り』 病院での死以外の選択が自由にできる 不必要な救急、望まない延命治療に繋げない 平常時から看取りについて本人と家族が話し合いACPを準備 (事例) 40分 (グループワーク) 50分 (総評) 10分	在宅医師 ゆきなりクリニック 院長 行成壽家 座長・総評：松崎担当理事